

## 要請番号 (JL04825B15)

募集終了

11

日本橋はつらね  
まちづくりを

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ブータン	G210 地質学		個別	新規	2年	・2026/1・2026/2・ 2026/3・2027/1

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名（日本語）

エネルギー・天然資源省

## 2) 配属機関名（日本語）

地質鉱山局 地質調査課

## 3) 任地（ティンブー県ティンブー市） JICA事務所の所在地（ティンブー市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（徒歩 で 約 0.0 時間）

## 4) 配属機関の規模・事業内容

エネルギー・天然資源省は、ブータン国のエネルギー、水資源、地質鉱山、森林保全、電力などを管轄する省庁で、6つの部局から成る。配属先の地質鉱山局は、鉱物資源にかかる政策の作成、採鉱や地質調査の管理・監督を担当しており、①地質調査課、②地質災害課、③鉱物政策・地籍課、④鉱業課に分かれている。このうち、地質調査課の主な役割は、鉱物資源の探査と開発で、そのための地質調査や地質図の作成などを行っている。同課の職員数は35名(うち、8名が地質エンジニア)、年間予算は約4800万円。2021年に終了した「鉱業開発計画策定プロジェクト」の協力先で、日本に留学経験のある職員も在籍している。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

ブータンでは、国連やインド地質調査所が作成した地質図により、多様な鉱物資源が存在することが確認されている。しかし、急峻な地形によるアクセスの制限や、国の厳格な天然資源保護政策などにより、地質・資源の調査は十分に実施されていない。また、ブータンは、ドロマイト、石灰石、石膏、大理石などの工業原料資源が豊富で、インドやバングラディッシュにも輸出している一方、金属鉱物資源については、ほぼ未開発である。近年、戦略的金属鉱物資源の開発が注目されていることもあり、配属先の金属鉱物資源分野の人材育成を支援するため、隊員の派遣要請がなされた。

## 2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先スタッフと協力しながら、下記の活動を行う

- 配属先本部において、収集したデータの分析を行う。
- ブータン南部にあるフィールドに出張し(1週間程度)、金属鉱物資源の探査を行う。
- 配属先スタッフに知識共有や技術移転を行う。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

ドローン (MagDrone R3)、 GEM-SYS磁力計、微動探査装置、電気抵抗トモグラフィー、地震波トモグラフィー

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

## 【配属先同僚】

課長: 男性 30代 (修士)

カウンターパート: 男性 20代

その他同僚35名 (20代~50代)

【活動対象者】  
同僚の地質エンジニア8名

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
英語	その他	英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（ [性別]：（ 備考：	[学歴]：（大卒）理工系 備考：同僚の学歴水準に合わせるため [経験]：（実務経験）10年以上 備考：即戦力が求められるため
-----------------------------	---

任地での乗物利用の必要性  
不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候）	気温：（-5～30℃位）	[電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可	電話可）	[水源]：（安定）

【特記事項】

- ・フィールド出張では山道を長時間歩き、テント泊の可能性もある。
- ・任地での生活使用言語は英語もしくはゾンカ語。ゾンカ語については、現地訓練期間に語学研修を行う予定。
- ・2025年秋募集では、同局の地質調査課からも隊員(地震)の要請がなされている。

【類似職種】

・鉱業  
※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。